



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社イエローハット 上場取引所 東
 コード番号 9882 URL <http://www.yellowhat.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 康生
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 木村 昭夫 (TEL) 03-5695-1602
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	107,623	6.0	7,739	40.4	8,622	36.4	5,578	30.3
29年3月期第3四半期	101,571	3.4	5,514	2.4	6,320	△0.1	4,279	△0.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 5,817百万円(34.6%) 29年3月期第3四半期 4,321百万円(△0.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	242.02	241.30
29年3月期第3四半期	185.67	185.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	96,126	72,212	75.0	3,127.45
29年3月期	93,485	67,824	72.4	2,938.21

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 72,086百万円 29年3月期 67,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年3月期	—	33.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	137,143	5.6	8,760	26.2	9,768	20.6	6,292	12.8	273.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	24,961,573株	29年3月期	24,961,573株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,911,915株	29年3月期	1,911,774株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	23,049,731株	29年3月期3Q	23,050,440株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府が推進する経済対策や金融政策の効果もあり、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

当カー用品業界におきましては、夏用タイヤ・冬用タイヤの値上げに伴う駆け込み需要や、寒気の影響を受けた冬用タイヤ需要により、タイヤ販売が伸長いたしました。カーエレクトロニクス商品では、危険運転に関する報道を受けてドライブレコーダー販売が伸長いたしました。

このような環境下におきまして、当社グループはカー用品・二輪用品等販売事業の一層の拡大を図るべく、タイヤを中心とした消耗品の拡販や、車検・钣金などのカーメンテナンスメニューを拡充してまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、子会社店舗の増加とタイヤの販売好調により、売上高は1,076億23百万円（前年同期比106.0%、60億51百万円増）、売上総利益は394億93百万円（前年同期比111.3%、40億19百万円増）となりました。

販売費及び一般管理費は、子会社店舗の増加に伴う人件費や賃借料等の増加により、317億53百万円（前年同期比106.0%、17億94百万円増）となりました。

その結果、営業利益は77億39百万円（前年同期比140.4%、22億25百万円増）、経常利益は86億22百万円（前年同期比136.4%、23億2百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては55億78百万円（前年同期比130.3%、12億98百万円増）となりました。

売上高の主な部門別内訳につきましては、卸売部門は416億41百万円（前年同期比101.6%、6億39百万円増）、小売部門は593億55百万円（前年同期比109.7%、52億66百万円増）となりました。

②当期のセグメント別概況

当第3四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント別の概要は次のとおりであります。

＜カー用品・二輪用品等販売事業＞

当第3四半期連結累計期間におけるイエローハット店舗の出退店の状況です。

国内では、平成29年4月に福井大和田店（福井県）、恵庭恵央店（北海道）、勝山旭町店（福井県）、5月にトレッド高槻店（大阪府）、幸手上高野店（埼玉県）、YMS幸手上高野店（埼玉県）、6月に伏見下鳥羽店（京都府）、7月に徳島藍住店（徳島県）、湖西新居店（静岡県）、佐伯ときわ店（大分県）、トレッド鳥取東伯店（鳥取県）、厚別西店（北海道）、8月にトレッド山梨一宮店（山梨県）、9月に新トレッド草津店（滋賀県）、苫小牧澄川店（北海道）、10月にトレッド守山大森店（愛知県）、トレッド名東高針店（愛知県）、トレッド三重河芸店（三重県）、イオンモール鈴鹿店（三重県）、斜里青葉店（北海道）、11月に新巻店（新潟県）、滝の水店（愛知県）、新トレッド秋田大曲店（秋田県）、トレッド福井丸岡店（福井県）、トレッド新潟巻店（新潟県）、江戸川大杉店（東京都）の計26店舗を開店、平成29年4月にYMS太田店（群馬県）、6月に東伯店（鳥取県）、7月に八幡西店（福岡県）、8月にトレッド草津店（滋賀県）、9月にトレッド秋田大曲店（秋田県）、河芸店（三重県）、10月に巻店（新潟県）、11月に江戸川上篠崎店（東京都）の計8店舗を閉店いたしました。また、車検獲得増を目的として、平成29年4月に車検センター船橋インター（千葉県）、車検センター刈谷（愛知県）、8月に車検センター札幌里塚（北海道）、9月に車検センター高松春日（香川県）を開店いたしました。

海外では、平成29年4月に中山店（台湾）、11月に上海成山路店（中国）を閉店、また11月に中国上海地区の5店舗を中国合弁契約先の子会社へ譲渡いたしました。

イエローハット店舗以外では、平成29年4月に門真2りんかん（大阪府）、SOX門真店（大阪府）、5月にSOX熊本本店（熊本県）、6月に宇都宮2りんかん（栃木県）、SOX大東店（大阪府）、7月にSOX宇都宮店（栃木県）、9月にSOX滋賀草津店（滋賀県）の計7店舗を開店、平成29年4月に大東2りんかん（大阪府）、11月に寝屋川2りんかん（大阪府）の2店舗を閉店いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は、国内がイエローハット693店舗、2りんかん53店舗、SOX46店舗、海外がイエローハット5店舗の合計797店舗、イエローハット車検センターが7拠点となりました。

当第3四半期連結累計期間のカー用品・二輪用品等販売事業の売上高は、1,027億92百万円（前年同期比106.3%、60億65百万円増）、セグメント利益につきましては、69億64百万円（前年同期比146.5%、22億9百万円増）となりました。

<賃貸不動産事業>

当第3四半期連結累計期間の賃貸不動産事業の売上高は、48億31百万円（前年同期比99.7%、13百万円減）、セグメント利益につきましては、7億75百万円（前年同期比102.0%、15百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、470億93百万円（前連結会計年度末461億64百万円）となり、9億29百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が24億19百万円、たな卸資産が16億89百万円増加した一方で、その他（未収入金など）が20億44百万円減少したことによります。

また、固定資産の残高は490億32百万円（前連結会計年度末473億20百万円）となり、17億11百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物（純額）が10億24百万円、土地が6億43百万円増加したことによります。

この結果、総資産残高は961億26百万円（前連結会計年度末934億85百万円）となりました。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、185億69百万円（前連結会計年度末205億36百万円）となり、19億66百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が14億37百万円減少したことによります。

また、固定負債の残高は53億43百万円（前連結会計年度末51億25百万円）となり、2億18百万円増加いたしました。

この結果、負債残高は239億13百万円（前連結会計年度末256億61百万円）となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、722億12百万円（前連結会計年度末678億24百万円）となり、43億88百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益55億78百万円を計上した一方で、配当金を14億52百万円支払ったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年10月31日の決算短信で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,643	2,708
受取手形及び売掛金	9,607	12,027
たな卸資産	23,121	24,811
その他	9,979	7,935
貸倒引当金	△187	△388
流動資産合計	46,164	47,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,641	35,406
減価償却累計額	△19,269	△20,009
建物及び構築物(純額)	14,372	15,396
土地	14,953	15,597
その他	7,281	8,054
減価償却累計額	△3,879	△4,445
その他(純額)	3,401	3,608
有形固定資産合計	32,727	34,602
無形固定資産		
ソフトウェア	344	305
その他	124	102
無形固定資産合計	468	407
投資その他の資産		
投資有価証券	1,753	2,055
敷金	9,916	9,626
その他	2,739	2,627
貸倒引当金	△285	△288
投資その他の資産合計	14,124	14,021
固定資産合計	47,320	49,032
資産合計	93,485	96,126

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,298	9,860
未払法人税等	1,791	1,596
賞与引当金	949	539
ポイント引当金	633	631
その他	5,863	5,941
流動負債合計	20,536	18,569
固定負債		
退職給付に係る負債	355	259
リース債務	503	432
資産除去債務	2,051	2,354
その他	2,214	2,296
固定負債合計	5,125	5,343
負債合計	25,661	23,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,072	15,072
資本剰余金	10,392	10,392
利益剰余金	46,161	50,286
自己株式	△2,255	△2,256
株主資本合計	69,370	73,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	493	697
土地再評価差額金	△2,054	△2,054
為替換算調整勘定	33	35
退職給付に係る調整累計額	△117	△87
その他の包括利益累計額合計	△1,645	△1,408
新株予約権	97	122
非支配株主持分	1	4
純資産合計	67,824	72,212
負債純資産合計	93,485	96,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	101,571	107,623
売上原価	66,097	68,130
売上総利益	35,473	39,493
販売費及び一般管理費	29,958	31,753
営業利益	5,514	7,739
営業外収益		
受取利息	83	64
受取手数料	279	322
持分法による投資利益	42	76
その他	492	459
営業外収益合計	897	923
営業外費用		
支払利息	23	15
その他	68	25
営業外費用合計	92	40
経常利益	6,320	8,622
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	113	—
段階取得に係る差益	20	—
特別利益合計	134	1
特別損失		
固定資産売却損	20	0
固定資産除却損	7	32
投資有価証券売却損	3	—
災害による損失	184	—
特別損失合計	215	32
税金等調整前四半期純利益	6,239	8,590
法人税、住民税及び事業税	2,033	2,799
法人税等調整額	△72	210
法人税等合計	1,960	3,009
四半期純利益	4,279	5,580
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,279	5,578

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	4,279	5,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	202
為替換算調整勘定	△1	0
退職給付に係る調整額	20	29
持分法適用会社に対する持分相当額	△23	3
その他の包括利益合計	42	236
四半期包括利益	4,321	5,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,322	5,814
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品・ 二輪用品等 販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	96,726	4,844	101,571	—	101,571
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	96,726	4,844	101,571	—	101,571
セグメント利益	4,754	760	5,514	—	5,514

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品・ 二輪用品等 販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	102,792	4,831	107,623	—	107,623
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	102,792	4,831	107,623	—	107,623
セグメント利益	6,964	775	7,739	—	7,739

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。